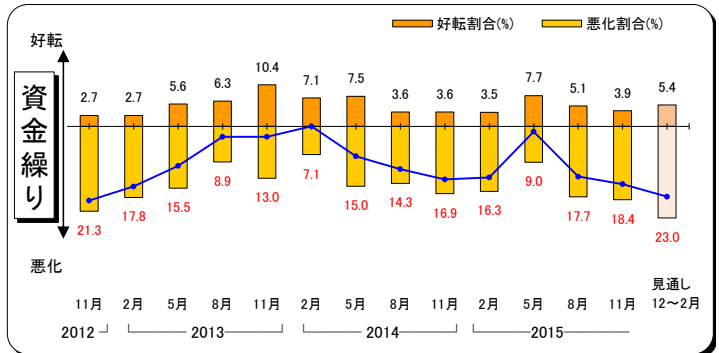
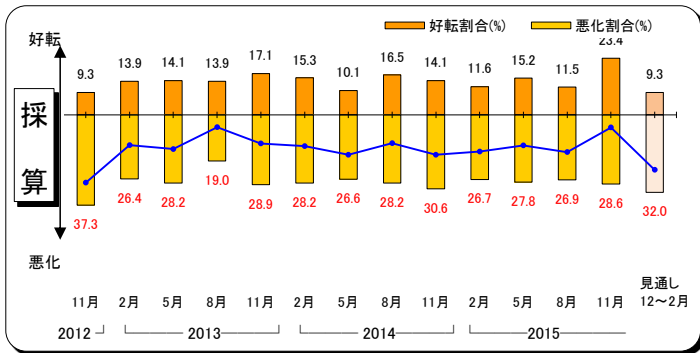
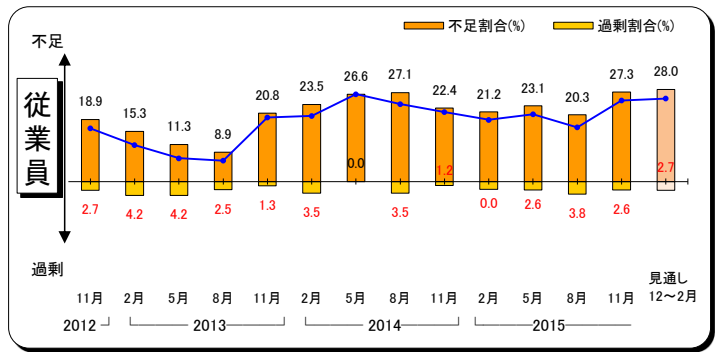
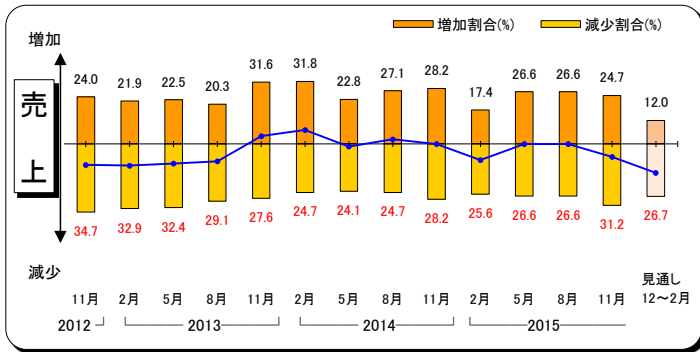
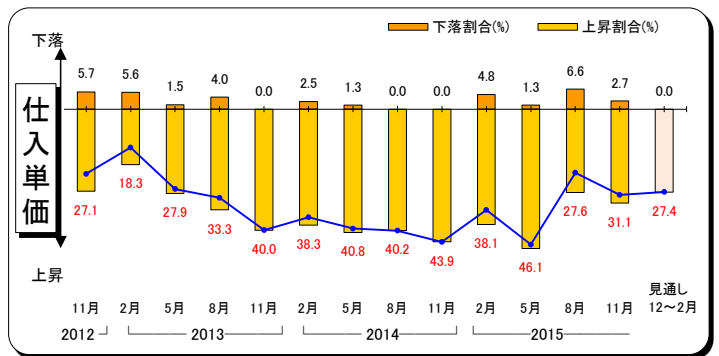
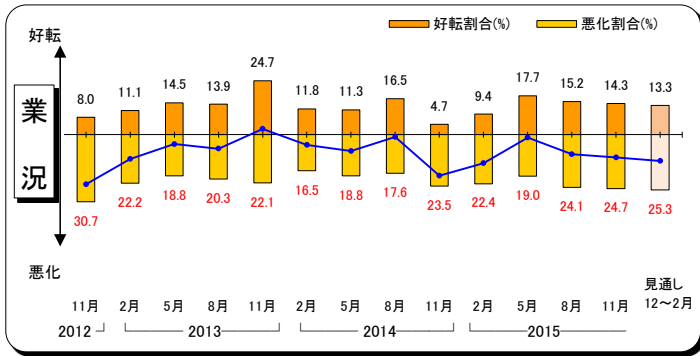


# 【サービス業】①



## 【サービス業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

木造建築工事業	今後も労働人口減少の流れにより営業職社員の確保が課題である。
運輸附帯サービス業	中国経済の減速がにわかに効いてきている気がする。総体的には大きな変化はないが、4、5、6月頃のような変動はなく少し落ち着いている。今後も大きな流れはないようにも見える。観光客の増加は、直接的には関係なく、オリンピックの経済効果も当初の掛声よりも冷えている。減速傾向が続くと予想する。設備投資、人材確保は慌てない。
貸事務所業	消費税が5%から8%に上がったとき、倍になった感じで今でも続いています。これが10%になるとしたら何倍の感じでしょうか。
不動産賃貸業	マイナンバー制度について業種的に未だ理解できていないところがあり、果たしてスムーズに協力してもらえるか、あるいは理解してもらえるか不安です。
物品賃貸業	千葉市、茂原市、成田市、銚子市と夜の飲食店は非常に悪い。ただし、新事業に向け準備段階であり、今後の市況に注目している。高齢化が進み、人口減にてアミューズメントは厳しくなる。
建築設計業	千葉市においては、財政収支が好転している報道があります。公共事業費は昨年に引き続き圧縮傾向にあります。地方の景気は、公共事業の好循環により支えられていることを理解され、財源を積極的に活用されることを希望します。国は、昨年に引き続き補正予算を計上する方向が報道されています。年度末に向け、配分される地方予算の有効的な財政出動を期待します。
建築設計業	民間の設備投資意欲が弱い。仕事量が少ないため、価格競争に入らざるを得ない。
専門料理店	売上高・採算の改善は、長らくできなかった値上げの結果です。改善はできましたが、以前の利益率には達していません。ヨーロッパの混乱（中東問題に絡むテロ、移民、避難民）、中国経済の減速を考えたとき、オリンピック開催前後は別として、そんなにインバウンドに期待できるものなのか。ヨーロッパが混乱しているからこそ、日本に足が向くのか、先が読めません。少しずつ対応していきたいと思います。
自動車整備業	整備士の人材不足。
その他の自動車整備業	ドライバーさんの高齢化→引退→運転手不足→減車→事業縮小または廃業・M&Aの動きあり。先行き見通しは現状維持→減少。限られた市場の中で増加を求める→市場価格不安定（乱売）→業績悪化→賃金（実績に応じた支給）→賞与下がっている？
機械修理業	中古建機の需要は、市場自体が停滞気味で、もう一段の円安刺激が必要な様子が見えがえ。125～127円位にふれば海外よりの買いが入りだすかと思われる。国内の売買は値下がり気味です。市況変化が起こるかもしれません。良い物件は高値のまま、悪い物件は売れ残りとなる傾向へ。
ビルメンテナンス業	従業員の高齢化により人手不足。募集採用状況の悪化。
警備業	人材の質・量の確保がそのまま業績に反映される。慢性的に人手不足であるが、地道に求人活動を続けていくしかないと思う。